

GREEN×EXPO 2027 児童生徒参画プログラム スタートミーティング



1 開催目的

GREEN×EXPO 2027 を「こども参画型国際博覧会 横浜モデル」という、これまでどの自治体や国も実現したことのないアプローチで実現させるため、「こどもの意見」を GREEN×EXPO 2027 に反映させる最初の機会として、スタートミーティングを開催した。なお、このモデルは 2023 年 4 月に施行された「こども基本法」の基本理念（第 3 条第 3 号）^{※1} に従い、その実現を目指したものである。

横浜市では 2016 年度から SDGs 達成の担い手育成（ESD）を推進しており、2023 年度からは小中学校全校で ESD に取り組んでいる。これまでの各校での取組があるからこそ描けるビジョンとして「こども参画型国際博覧会 横浜モデル」を構想し、レガシーとして「幸せを創る明日の風景」は自分たちで実現できると子どもが本気で思えるようになることを目指す^{※2}。

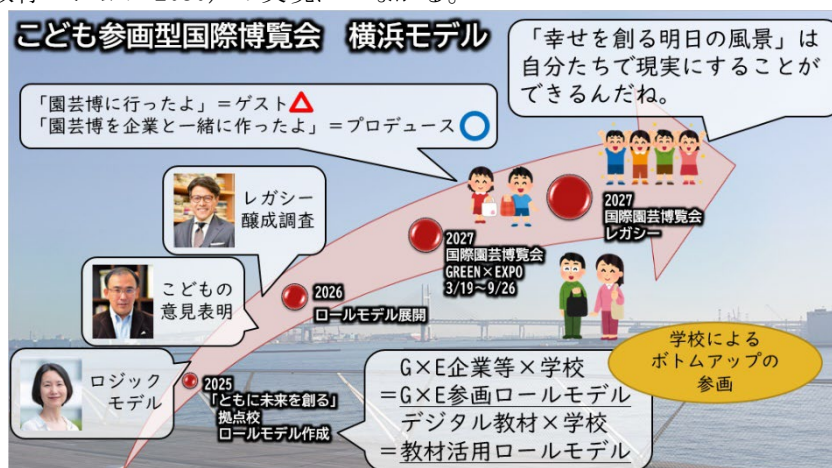
スタートミーティングでは、「幸せを創る明日の風景」の具現化に向けて市立学校の児童生徒と参加している大人^{※3} が意見交換をした。この経験から、子どもは「多様な人の前で自分の考えを言うことができた、大人が自分の話を真剣に聞いてくれた、明日から GREEN×EXPO 2027 と関連させてやりたいことを見つけた、色んな人と関わって活動したい」という気持ちになり、大人は「子どもはこんなことを考えていたと初めて知った、子どもの思いと自分のミッションにはつながる点がある、GREEN×EXPO 2027 にむけて学校と連携・協働した取組のイメージをもつことができた」という気持ちになることを狙った^{※4}。

※1 こども基本法 第 3 条第 3 号「全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」

※2 本イベント以後の学校と企業等との連携・協働については別紙参照。

※3 これから先 2 年間の取組のスタートとして、本イベントでは、子どもの意見を真剣に聞いたり、企業の取組等に対して子どもに意見を求めたりすることを想定している。

※4 学校と地域、企業等が、ともに「幸せを創る明日の風景」を描き、GREEN×EXPO 2027 を連携・協働して創ろうとすることは、横浜の教育が目指す人づくり「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」（横浜教育ビジョン 2030）の実現につながる。



2 日時

令和7年5月29日（木） 14:00～16:00（受付13:45～）

3 会場

横浜市庁舎 31階 レセプションルーム

4 参加者（143名）

（1）横浜市立学校：ESD推進校

学校名	児童生徒数	教員数	保護者数
東高校	6	3	0
市ヶ尾中学校	0	2	0
本牧中学校	6	1	0
中川西中学校	6	2	2
永田台小学校	4	2	1
幸ヶ谷小学校	4	2	4
みなとみらい本町小学校	12	2	2
三保小学校	4	2	0
合計	42	15	9

（2）関係団体

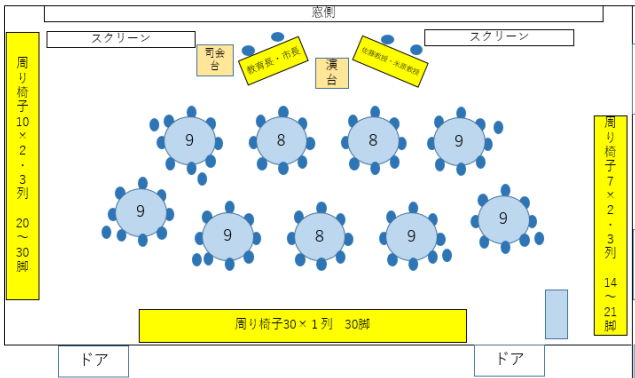
団体名	参加者数
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課	5
政策経営局 共創推進課	3
園芸博覧会協会	6

（3）GREEN×EXPO 2027 関連企業

企業名	参加者数
東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）	8
明治ホールディングス株式会社	1
相鉄ホールディングス株式会社	2
株式会社ジャクエツ	2

（4）教育委員会事務局、ESD 関係者、市議員、記者、等

※9テーブルに8名程度（児童生徒5、関係機関や企業等3）ずつをグループ分けし、ファシリテータとして指導主事も加わった。



5 時程及び内容

時刻	内容
13:30	企業等受付開始
13:40	学校受付開始
14:00	<p>【開会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの言葉 ・市長からの激励メッセージ ・趣旨説明
14:20	<p>【現状の共有】各団体から1名ずつ、自己紹介や現在の取組等について。</p>
14:30	<p>【グループ協議1】</p> <p>ファシリテータ：東洋大学 教授 米原あき氏 東京都市大学 教授 佐藤真久氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への事前アンケート結果の共有 ・「幸せを創る明日の風景」とは

東高校では生徒の自主的な活動を先生が見守り、時に助言をくれる。この「ななめの関係」を広めていきたい。

子どもと大人が共に環境について考え、行動し、その輪を広げていく。子どもたちとつくる博覧会を目指しましょう！

明日=10年後と
考えたら…???

今できることが、
できなくならない
でほしい。

冷蔵庫に食べ物がいっぱいある。

緑や自然は好き。
気持ちいいなーって。


仲間がたくさん
いること。

好きなことが好きにできることが
大事。明日を生きたくなる。

みんなでお茶を飲んで
豊かになる風景。
ゆったりする気持ち。
おいしいとか。

戦争がなくなる。

【次ページあり】

14:55	<p>【休憩】</p>  
15:05	<p>【グループ協議2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議1の全体共有 ・「幸せを創る明日の風景」のためにそれぞれの立場で何ができるか <div data-bbox="371 633 826 712"> <p>友達をたくさんつくっておく。</p> </div> <div data-bbox="842 633 1436 734"> <p>平和は大事と分かったが、平和・幸せが何かとか考える機会になって楽しかった。</p> </div> <div data-bbox="387 757 834 1081">  </div> <div data-bbox="850 757 1353 1059">  </div> <div data-bbox="371 1093 826 1238"> <p>学校でリサイクルの取り組みやっている、家でもできると気づいた。</p> </div> <div data-bbox="842 1093 1436 1238"> <p>ただの活動じゃつまらない。楽しくあればみんな続けられる。 ・・・楽しくない人もいるかも？</p> </div>
15:25	<p>【振り返り】</p> <div data-bbox="159 1485 371 1664">  </div> <div data-bbox="204 1675 387 1904">  </div> <div data-bbox="387 1328 834 1590">  </div> <div data-bbox="403 1612 595 1888">  </div> <div data-bbox="611 1612 834 1865">  </div> <p>○自分たちのこれまでの体験をもとに話すことが大切だと感じた。</p> <p>○人とのつながり（地域の人、学校内、障害のある方や外国人等）が大切。地域とのつながりが薄いという課題を見つけることができた。</p> <p>○つながりをつくるにはまずは挨拶から。</p> <p>○みんなが話を聞いてくれて嬉しかった。</p> <p>○大きな戦争をやめたりすることはできないが、小さいこと、自分ができることを考えて取り組んでいきたい。</p> <p>○自分でもびっくりする言葉が出てきた。</p> <p>○「大人だから」「子どもだから」ではなくみんなでやっていく。</p>

15:45	【講評】 (10分) 東京都市大学 教授 佐藤真久氏 <div data-bbox="485 264 1123 398" data-label="Text"> <p>キーワードは、 「人」「人と人」「人と自然」</p> </div> <div data-bbox="1150 203 1385 450" data-label="Image"> </div>
15:55	【閉会】 グループごとに記念撮影をして解散 <div data-bbox="387 533 863 822" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="898 533 1417 822" data-label="Image"> </div>

6 ミーティング後に寄せられたコメント

- 子どもたちの手が次々と挙がり、「幸せを創る明日の風景」を実現するために、自分がしたいこと、自分たちができること、大切にしたいことなどを語っていました。「つながり」を大切にしたいという声が多かったのは、子どもも、大人をその相手として認識したこともあると感じています。また、大人からの発言が、一人しかなかったのは、自分の思いを、自分の言葉で堂々と発言する子どもの姿に圧倒されたのかもしれません。
- 子どもと自分とで課題意識はそんなに変わらないことがわかった。協働できる相手だと認識できた。
- モロッコでも、ナイジェリアでも、学校では教師主導型の授業が一般的であり、子どもに発言を求める機会自体が極めて限られております。また、学級会や児童会・生徒会のような「話し合いの場」もないため、大人に交じって小学生や中学生が意見を述べ、その意見が大人たちによって尊重されている様子を目の当たりにし、感動を超え、驚嘆していた次第です。
- 子どもはすごいエネルギーをもっていて、感動で思考停止になってしまいそうになりますが、教育であるということを忘れてはいけないとも感じました。

7 スタートミーティングを終えて

「こどもの意見」を GREEN×EXPO 2027 に反映させる最初のお機会として、スタートミーティングを目的通り、実施することができた。子どもは「大人が自分の話を真剣に聞いてくれた」「明日から GREEN×EXPO 2027 と関連させてやりたいことを見つけた」「色々な人と関わって活動したい」という気持ちになり、大人は「子どもはこんなことを考えていたと初めて知った」「子どもの思いと自分のミッションにはつながる点がある」「学校と連携・協働するきっかけを得ることができた」という気持ちになることができた。

今回をスタートの機会とし、今回出たアイデアや熱量を次の取組につなげていく。